

## 第40回 高松市新型コロナウイルス対策本部会議

日 時 令和4年4月22日（金）  
午前10時から  
場 所 本庁舎13階 大会議室

### 次 第

#### 1 開 会

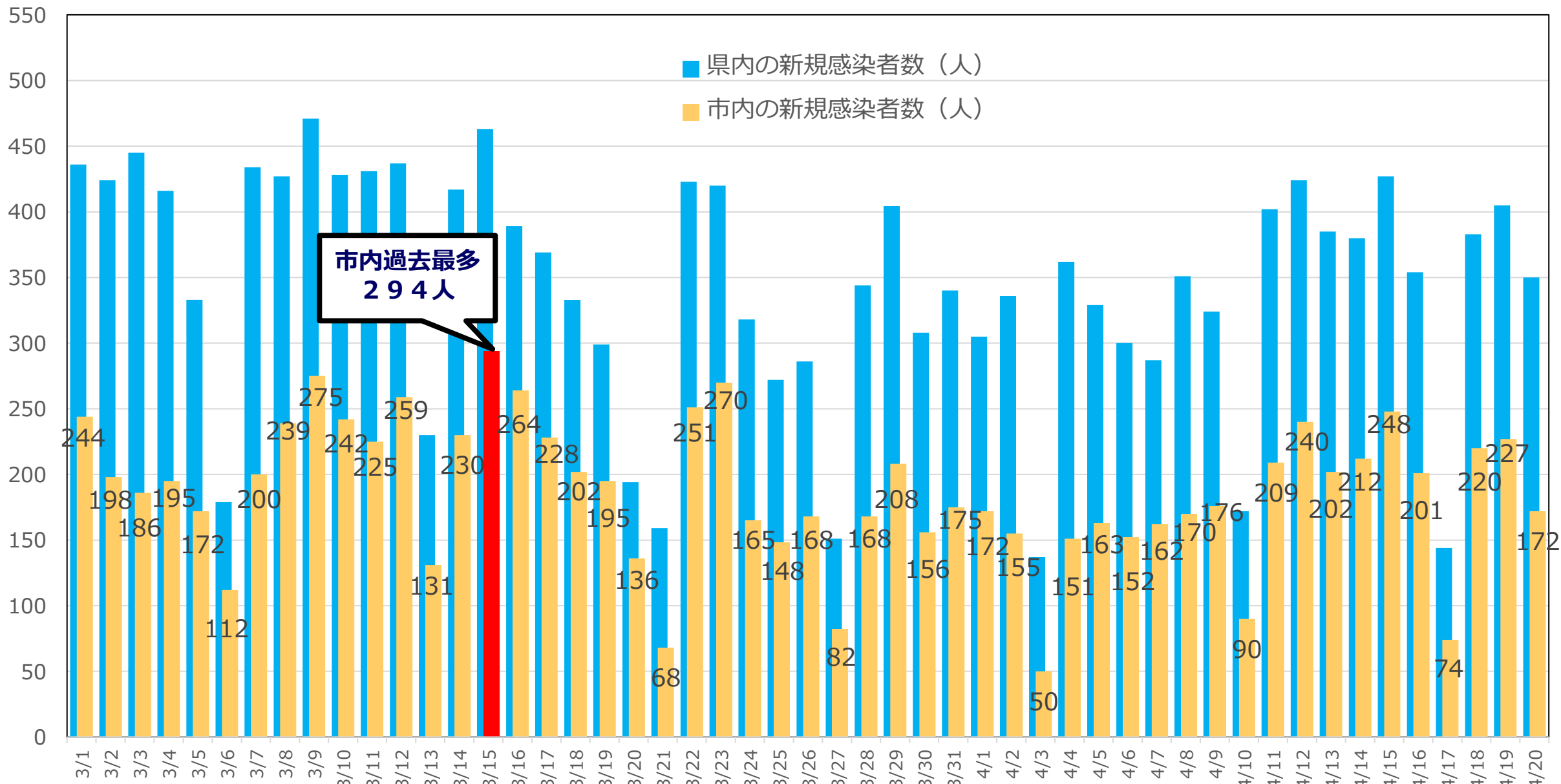
#### 2 議 題

- (1) 香川県における今後の対応について
- (2) 本市における感染者の状況等について
- (3) 3回目ワクチンの接種状況及び接種率向上に向けた集中取組（追加対策）について
- (4) 瀬戸内国際芸術祭2022（春会期）における感染対策について
- (5) 学校及び未就学施設の状況等について

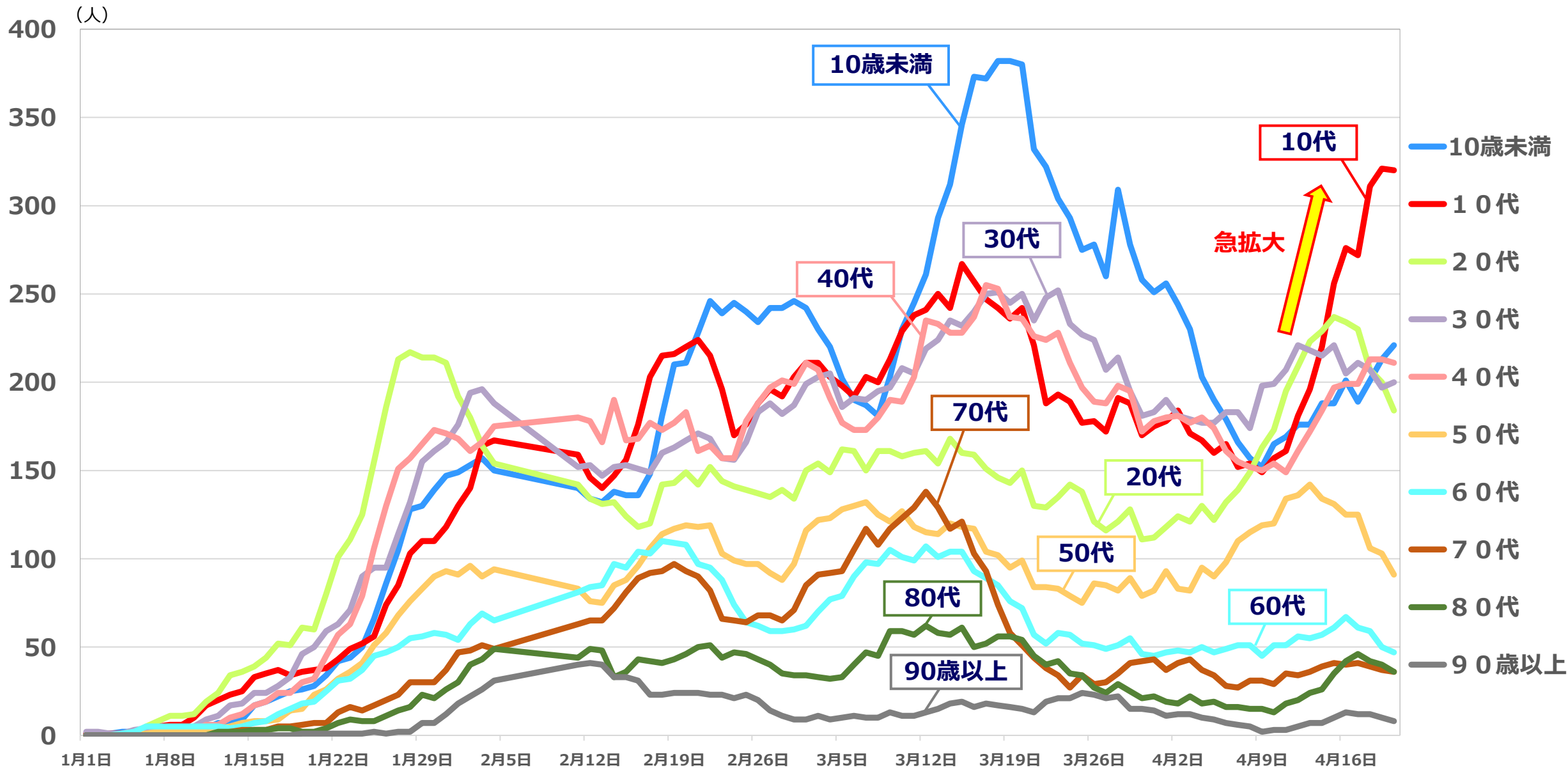
#### 3 本部長総括

#### 4 閉 会

# 県内・市内における新規感染者数の状況 (2022.3.1~4.20)

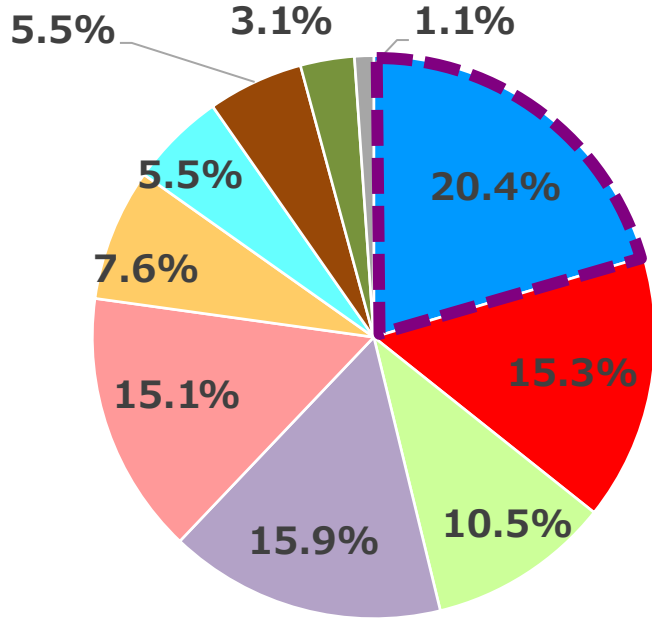


# 年代別感染者数の推移（直近1週間の累積新規感染者数） 2022.1.1~4.20

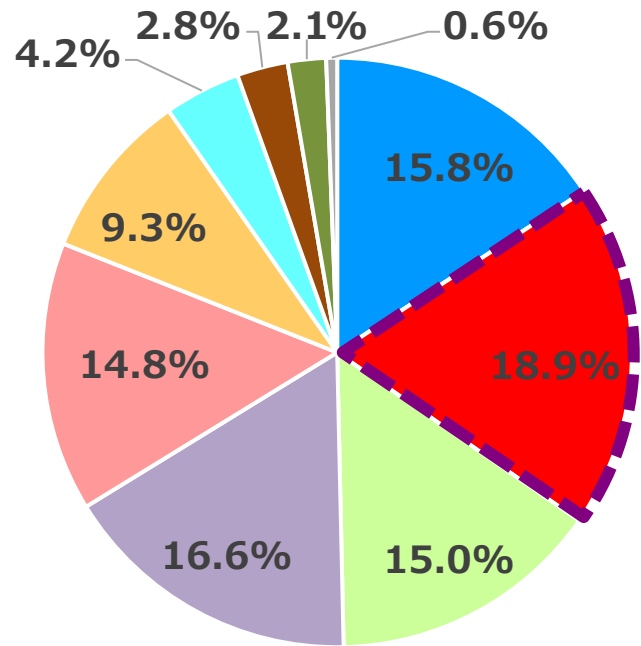


# 新規感染者の年代別割合の状況

**3月**  
累積新規感染者数 **6,086人**



**4月(4.20時点)**  
累積新規感染者数 **3,446人**



■ 10歳未満  
 ■ 10代  
 ■ 20代  
 ■ 30代  
 ■ 40代  
 ■ 50代  
 ■ 60代  
 ■ 70代  
 ■ 80代  
 ■ 90歳以上

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上	合計(人)
3月	1,243	931	640	965	919	462	336	336	186	68	6,086
4月 (4月20日時点)	543	651	516	571	510	319	145	96	74	21	3,446

# 高松市における3回目ワクチン接種の状況

【令和4年4月21日現在】

	人数	接種率
<b>市全体</b>	<b>194,810人</b>	<b>45.70%</b>
高齢者（65歳以上）	101,181人	85.09%
60～64歳	14,867人	60.80%
50歳代	27,205人	50.56%
40歳代	22,759人	35.13%
30歳代	14,290人	29.81%
20歳代	10,641人	26.32%
12～19歳（※）	3,456人	10.68%

※ 3回目接種の接種対象者は12歳以上

※ ワクチン接種記録システム上、年代のデータが欠けているものがあるため、市全体の人数と年代別の人数の合計とに差が生じている。

# 新型コロナウイルスの接種率向上に向けた集中取組（追加対策）

## （1）接種率向上のための3つの集中取組（4月12日市長定例記者会見において公表）

接種日	時間帯	対象者	会場	ワクチン	回数	予約
4月23日～5月1日の 土・日・祝日（5日間）	午後3時～5時	12歳～20歳代 （3回目）	市役所13階大会議室 / みんなの病院	ファイザー	約230回分	要 <受付中>
5月3・4日の祝日（2日間）	午前10時30分～ 午後1時30分	12歳以上 （1・2回目及び 3回目）	市役所13階 大会議室		540回分	要 <4月25日 （月）午前 9時開始>
5月5・14・15・21・22日の 土・日・祝日（5日間）	午後2時～5時	18歳以上 （3回目）			モデルナ	990回分

## （2）集中取組の更なる追加対策

4月12日定例記者会見における「集団接種の集中取組」公表後の状況

- ・ファイザー社製ワクチン接種に対する市民ニーズ ⇒ 対象者の拡充（30歳以上）
- ・ファイザー社製ワクチンの集団接種での有効活用



**ファイザー社製ワクチンによる接種の機会を新たに設けるもの**

# 新型コロナウイルスワクチンの接種率向上に向けた集中取組（追加対策）

## 《追加対策の内容》

	接種日	時間帯	対象者	会場	ワクチン	回数	予約
①	5月7・8日の土・日 (2日間)	午前10時30分 ～ 午後5時	12歳以上 (3回目)	市役所 13階大会議室	ファイザー	720回分	要
②	5月14・15・21・22日の土・日 (4日間)	午前10時30分 ～ 午後1時30分				720回分	

## 予約開始日時／予約方法

### ・予約開始日時

①② 4月25日（月）午前9時開始

### ・予約方法

オンライン予約サイト <https://vaccines.sciseed.jp/takamatsu-city/login>

高松市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター受付

電話：0120-525-207（午前9時～午後6時：土・日・祝日も実施）

## 瀬戸内国際芸術祭 2022（春会期）における感染対策について

- **来場者の感染対策については、3月3日に瀬戸内国際芸術祭実行委員会が策定した「新型コロナウイルス感染症対策の指針」に沿って実施している。**
  - ・ 飛沫の抑制や手洗い・消毒、換気の徹底、密集の回避、スタッフの体調管理など、基本的な対策を徹底することはもとより、
  - ・ 作品及び施設の公開、食の提供、案内所、公式ツアー、式典など、ケース別に必要な対策に加え、
  - ・ 検温及び体調確認、救護スペースの確保（島での有症状者発生時）、医療従事者による相談体制（実行委員会の本部に看護師1名を常時配置）、密にならない形での本土側への移動など、島ごとの実情に応じた対策を、会期を通じて適切に講じる。
  
- **女木島、男木島、大島の会場に訪訪する場合は、**
  - ・ 来場者は、まず、高松港において検温や体調確認を受ける。
    - 37.5度以上の発熱又は風邪等の症状がない場合は、検温等が完了している印のリストバンドを装着していただき、症状がある場合には、芸術祭の作品及び施設の鑑賞をお断りする旨を伝える。
    - 高松港における検温等は、島民の方の安全・安心に配慮し、事前に検温等を受けてから乗船する流れとしている。
    - 配付するリストバンドは、当日のみ有効なものとなっている（毎日、色が変わる）。リストバンドを付けた来場者には、作品受付場所等での検温等は実施しない。
  - ・ 高松港での検温等が基本となっているが、島内（案内所）でも同様の対応を行う（リストバンドを装着していない場合）。
  - ・ 大島への船便は、船内が密にならないよう、便ごとの芸術祭来場者を原則50名までとしており、船内では一般の乗船客と芸術祭の来場者をフロアで分けている。
  
- **来場者に、医療体制の脆弱な離島に行くという自覚を持っていただくことが何よりも重要であることから**
  - ・ 島民の方々や自らの安全のため、自宅やホテル（認定案内所）で検温を行い、体調不良時には来県・来場を控えること
  - ・ 有症状者には施設や作品の受付で鑑賞をお断りすることなどを、実行委員会から十分に周知する。
  
- **引き続き、島民の皆様や来場者の皆様の安全・安心に意を用いていくことを基本に、今後の感染状況等の変化（※）にも柔軟に対応しながら、感染対策を徹底する。**



## ※感染状況を踏まえた芸術祭の開催の考え方について

### (1) 通常時

瀬戸内国際芸術祭実行委員会が策定した「新型コロナウイルス感染症対策の指針」に基づく対策を実施して開催。

### (2) まん延防止等重点措置時

会場の市町がまん延防止等重点措置の対象になった場合は、対策を強化しながら開催することの可否について、関係市町の意見も踏まえて対応を決定。

また、会場の市町以外の県内市町がまん延防止等重点措置の対象になった場合は、必要に応じて対策を強化しながら開催することを基本に、関係市町の意見も踏まえて対応を決定。

### (3) 緊急事態宣言時

香川県又は岡山県が対象になった場合は、それぞれの県内において、延期又は一時中止を基本に、関係市町の意見を踏まえ対応を決定。

### (4) その他

(香川・岡山それぞれの) 県外が緊急事態宣言区域等になった場合は、指針に基づく対策を実施して開催し、対策を強化することを検討。

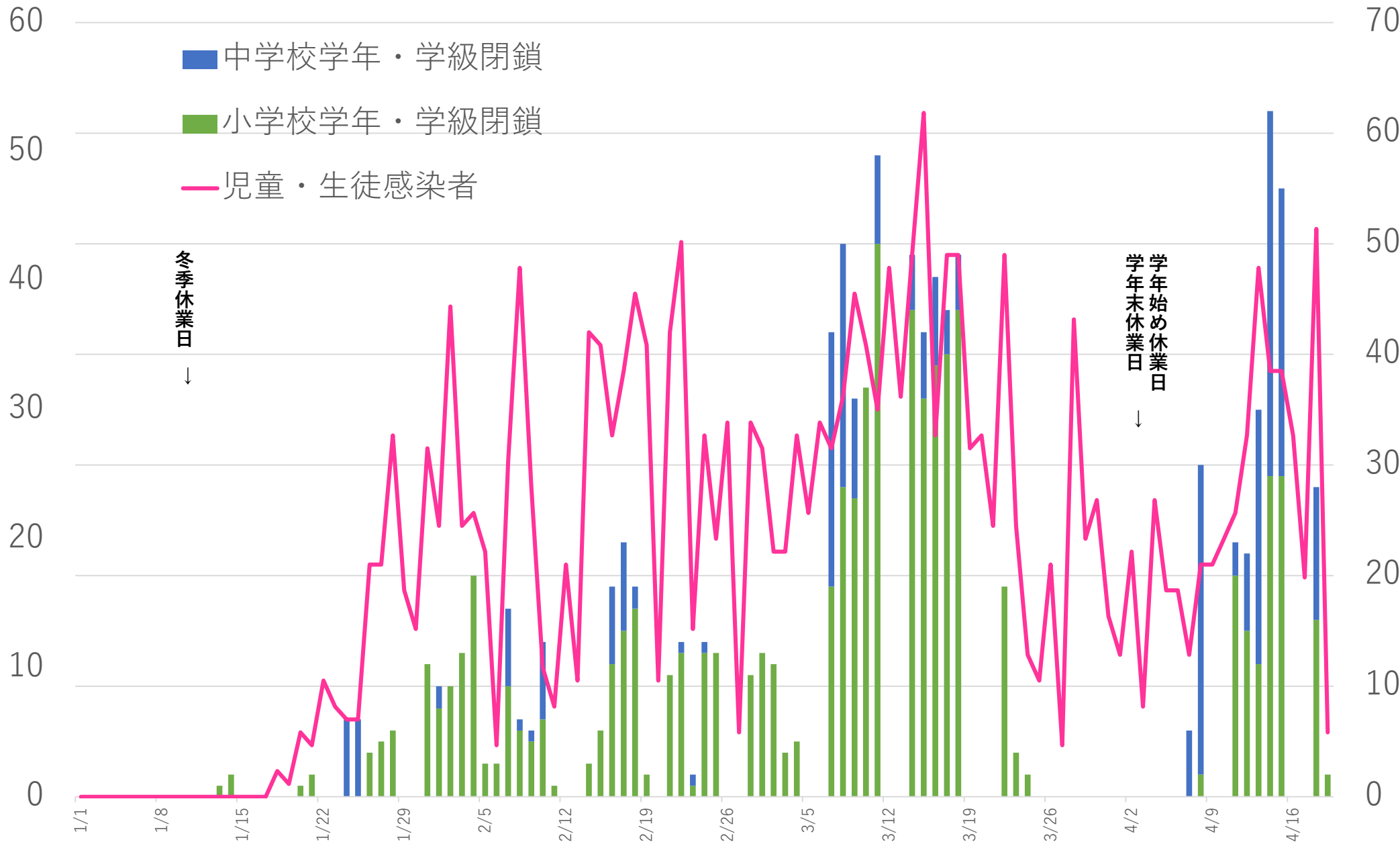
なお、延期又は一時中止を行うことも関係市町の意見を踏まえて検討。

# 小・中学校 感染者及び学年・学級閉鎖の状況 (令和4年1月～4月) (件)

(人)

児童・生徒感染者数

学年学級閉鎖数



# 感染者数及び学年・学級閉鎖 月別平均・最大値

	感染者数		学年・学級閉鎖			
			小学校		中学校	
	1日平均	1日最大数	1日平均	1日最大数	1日平均	1日最大数
1月	5.16人	28人	2.06校	12校	0.88校	7校
2月	24.21人	43人	10.15校	20校	1.90校	8校
3月	27.74人	53人	23.50校	50校	5.00校	23校
4月 (4月19日現在)	21.58人	44人	14.00校	29校	15.33校	33校

※学年・学級閉鎖は土・日・祭日及び長期休業等を除く稼業日における平均とする。

# 新型コロナウイルスワクチン接種状況

(4月14日現在)

年代	人口	1回目接種		2回目接種		3回目接種	
		接種回数	接種率	接種回数	接種率	接種回数	接種率
12～19歳	32,359	22,836	70.57%	22,535	69.64%	2,625	8.11%
12歳未満	43,576	1,943	4.00%	785	2.00%	—	—

(高松市新型コロナウイルスワクチン接種本部作成 資料)

- 12歳～19歳の1・2回目接種率は約7割となっている。
- 12歳～19歳の3回目接種及び5歳～11歳の1回目接種については3月から接種が開始となったため接種率は低くなっている。

## 新型コロナウイルス感染症に係る新学期にあたっての学校の対応について

令和4年4月、依然として新規感染者数が高止まりし、「感染拡大防止対策期」が継続されていることから、新学期が始まる4月6日から4月24日まで下記のとおり対応する旨を小中高等学校に通知し、各学校において実践されている。

### 1 新年度における保健管理体制について

○転入生や新入学児童生徒の体調や感染状況の把握に努めるとともに、家庭に対しても感染拡大防止に対する協力を呼びかけ、最新の情報を随時提供すること。

○各教科や特別活動等における感染症対策は、文部科学省作成の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(2022.4.1 Ver.8)」を参照すること。

### 2 部活動について

○部活動は、自校のみの練習に加えて、県内外の学校との練習試合を含めた交流・合同練習等を可とするが、緊急事態宣言対象区域、まん延防止等重点措置区域との交流及び宿泊を伴う活動は不可とする。

なお、実施上の留意点は県立学校の「部活動実施マニュアル～4月6日からの部活動について～」を参考にすること。

### 3 特別活動等について

○修学旅行等の宿泊を伴う活動については、適切な感染防止策を十分に講じた上で緊急事態宣言対象区域及びまん延防止等重点措置区域での活動を除き可とする。時期や目的地については、ゴールデンウィーク明けの本市や目的地の感染状況をふまえて実施について慎重に判断すること。実際は、ゴールデンウィーク後に、県内や近県に修学旅行地を変更する学校が多い。

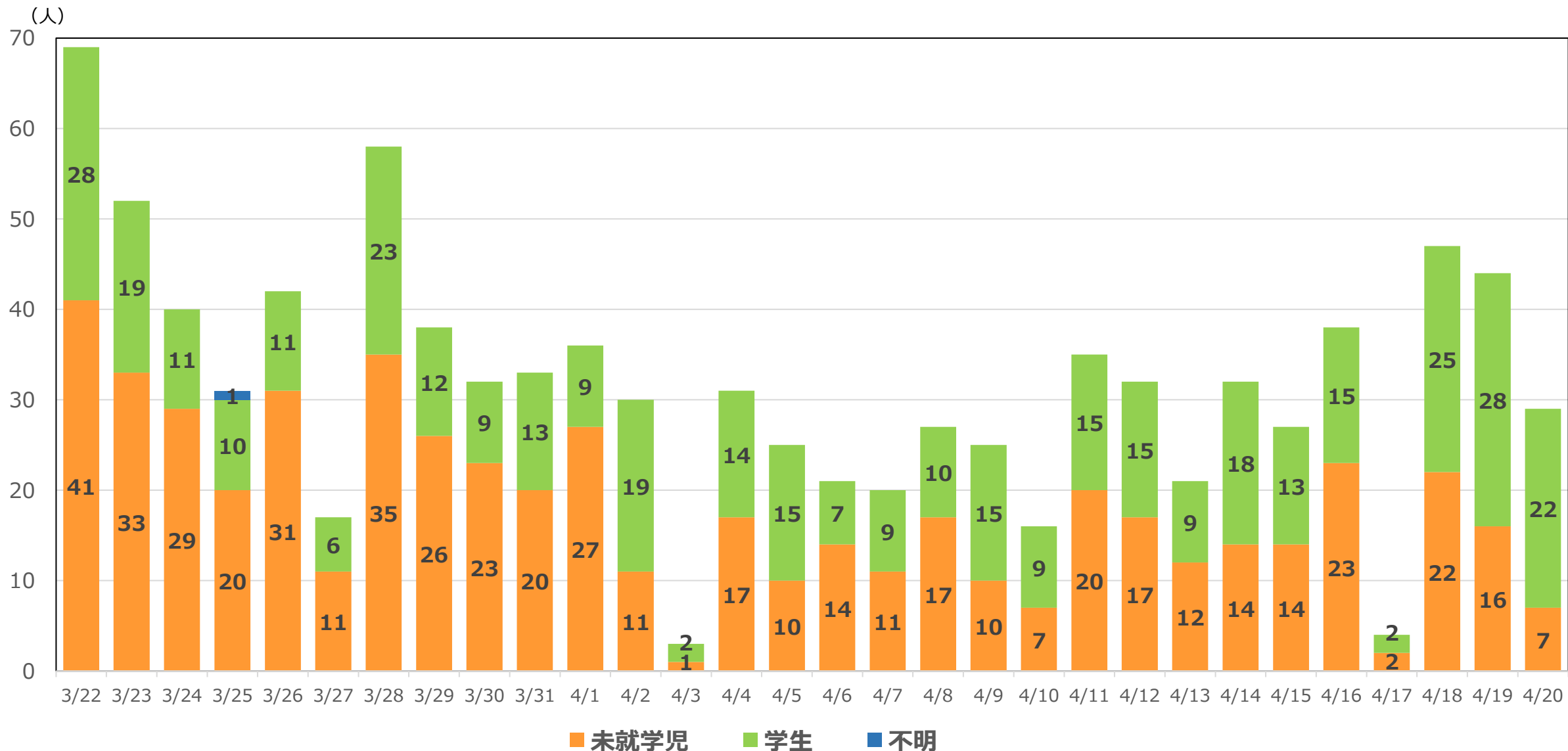
○始業式、入学式等の学校行事や、PTA関連行事等の開催にあたっては、地域の実情に応じて感染症対策を徹底するとともに、参加者の正確な把握に努める等、感染者が発生した場合の対応等も事前に検討しておくこと。

### 4 臨時休業の基本的な考え方

○学級で感染者が発生した場合、感染者が1名であっても原則3日間の臨時休業を行うこと。

○学校医と相談の上、学校感染対策検査事業（PCR検査）を活用する。

# 10歳未満の新規感染者数の推移 (2022.3.22~4.20)



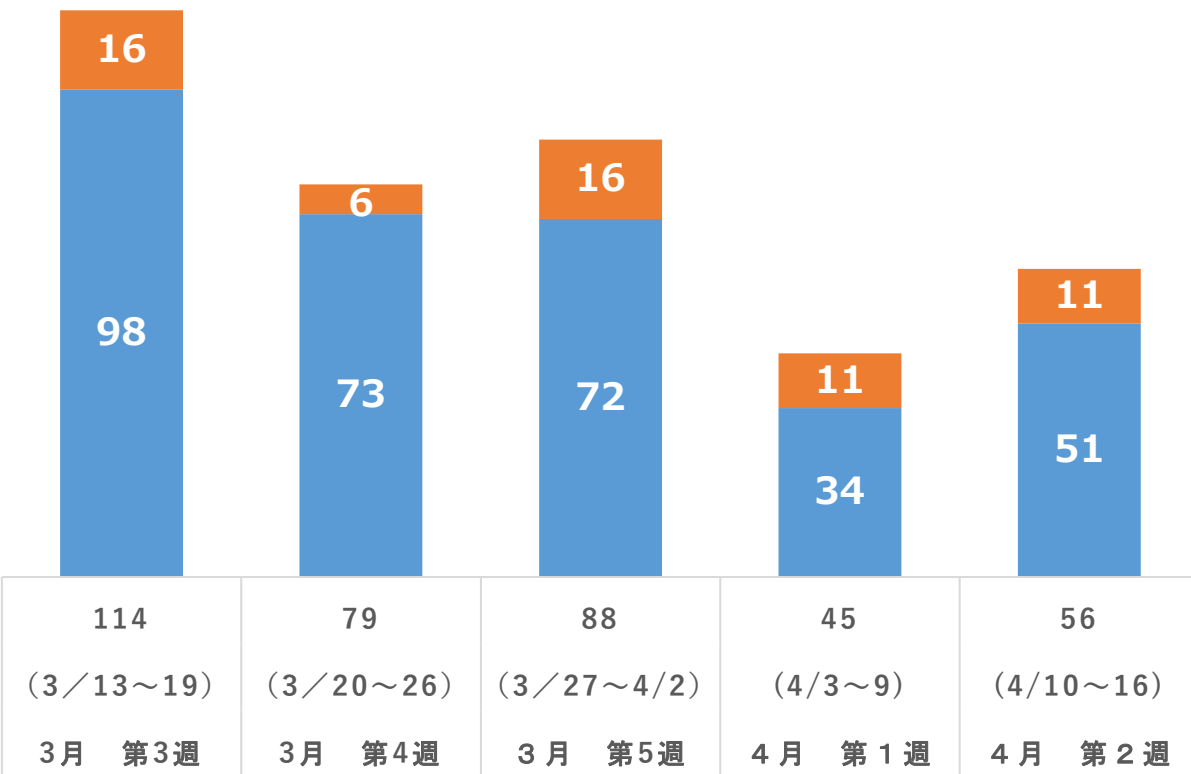
# 高松市内の未就学施設における感染状況（R4.3.13-4.16）

## 【概要】

4月に入り、陽性者数は、一旦減少したものの、直近1週間では若干増加している。1日当たりの休園数は、一進一退の状況であるが、陽性者数と同様に、直近1週間では、若干、増加している。

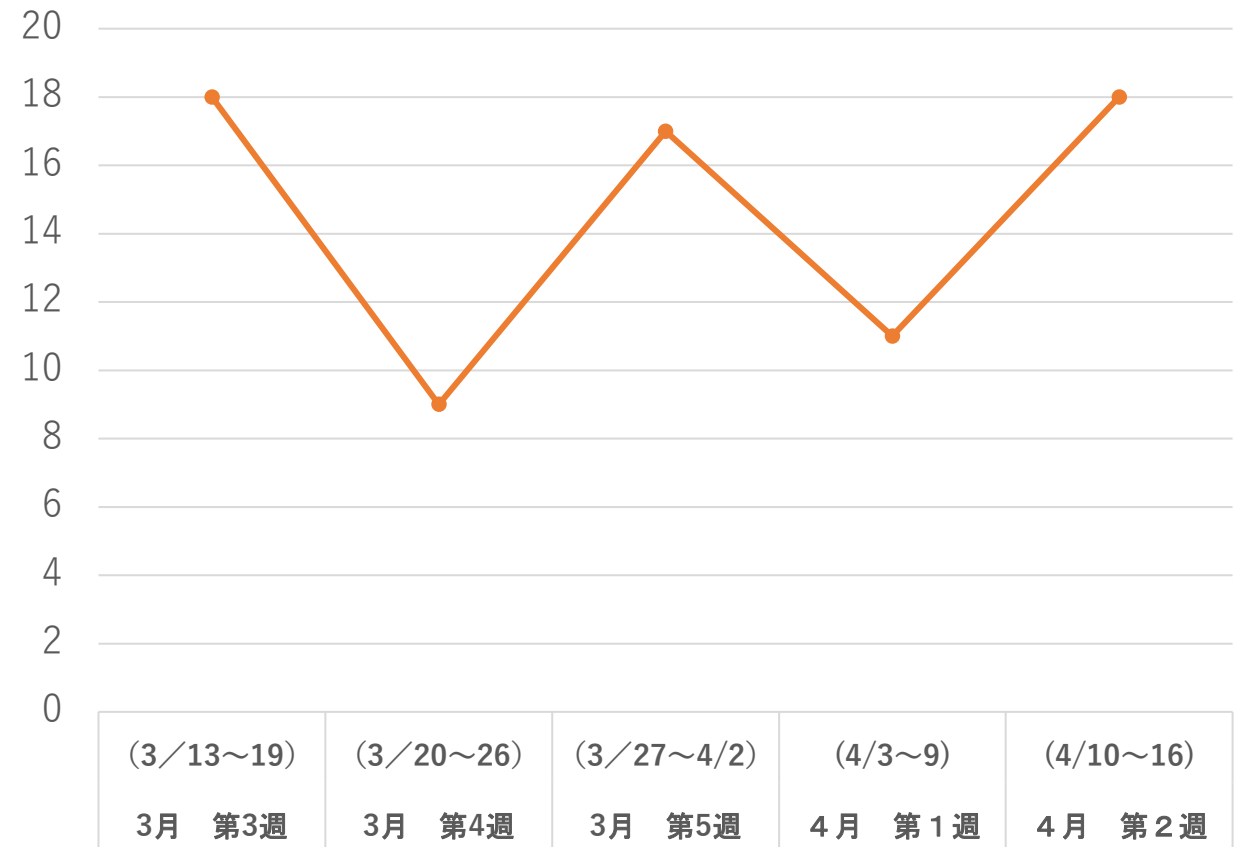
### 未就学施設における陽性者数

■ 内訳 児童 ■ 内訳 職員 単位：人



### 1日平均休園施設数

単位：施設数



※R4.4.21時点での休園状況：19施設

※陽性者数及び休園施設数は、認可外保育施設及び私立幼稚園を除く。

# 未就学施設における感染防止対策

～新学期開始の感染増加を受けての対応強化～

## 1 施設内での感染事例を要因分析し、具体的な感染対策を施設へ通知（No3）

⇒これまでも、感染事例を踏まえた感染対策を、各施設へ通知し、情報共有を図ってきたが、改めて、最新の事例を盛り込むとともに、県内の保育施設等の事例分析を行っている県とも連携しながら、更なる内容の充実を図る。

## 2 陽性者が発生した保育施設への、抗原検査キットの積極的な配布・検査

⇒これまでは、施設内で陽性者が確認された際、希望する施設に対して、抗原検査キットを配布していたが、施設内の感染拡大を防ぐため、今後は、市から積極的に施設へ抗原検査キットを配布し、検査を促すことで、更なる施設内の感染の拡大を防ぐ。

## 3 市こども保育教育課の巡回指導

⇒5,6月で、全ての市立施設（56施設）を巡回し、現場の保育教育士に対して、感染防止対策に係るチェックリストを用いた現地指導を行う。

## 4 クラスタが発生した施設への専門家派遣

⇒クラスタが発生した施設に対して、感染管理認定看護師の派遣（県事業）を積極的に勧奨し、再発防止を徹底する。